

非SU系 水稻用一発処理除草剤



# トビキリ<sup>®</sup> ジャンボ

カフェンストール…4.2% ベンゾビシクロン4.0% ピラゾキシフェン20.0% ダイムロン…8.4%

トビキリ<sup>®</sup>は石原産業(株)の登録商標です。

トビキリ手軽で、  
トビキリ広がる。  
トビキリ効くのは、  
トビキリジャンボ!!

SU抵抗性雑草の  
防除にも!



ルビエ  
2.5葉期まで  
(近畿以西)

## 特長

- 1.優れた拡散性!  
自己拡散型の製剤により、素早く広がる。
- 2.水田の多くの雑草に安定した効果を発揮。  
SU抵抗性雑草(コナギ、ホタルイ等)にも有効。
- 3.イネや周辺環境にやさしい。



投下直後



投下45秒後



投下3分後

# SU抵抗性雑草の防除にも!

# トビキリ<sup>®</sup>ジャンボ

有効成分: カフェンストール…4.2% ベンゾピシクロン4.0% ピラゾキシフェン20.0% ダイムロン…8.4% 人畜毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

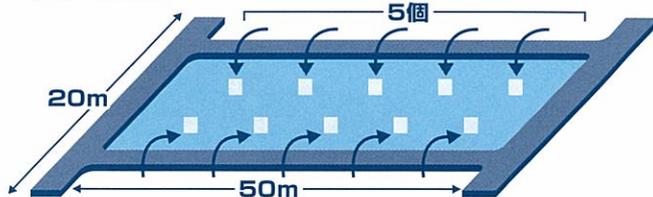
## 上手な使い方 [使用時期: ノビエ2葉期まで(近畿・中国・四国、九州は2.5葉期まで)]



●地域や作期によってノビエの生育速度に差があるので、時期を失ないように散布してください。

散布量は10アール当たり50gパック10個です。パックのまま均等に投げ込んでください。  
※水溶性パックにつきぬれた手で作業したり、降雨で破れないよう注意してください。

●10アールの場合



## 適用雑草と使用方法

本内容は、平成24年2月8日付の登録内容に基づいています。

| 作物名      | 適用雑草名   | 使用時期                                | 適用土壌       | 10アール当り<br>使用量                | 総使用回数※   | 使用方法                        | 適用地帯                                   |
|----------|---|-------------------------------------|------------|-------------------------------|--|-----------------------------|--|
| 移植<br>水稲 | 水田一年生雑草及び<br>マツバイ<br>ホタルイ<br>ウリカワ<br>ミズガヤツリ(北海道を除く)<br>ヘラオモダカ(北海道、東北)<br>ヒルムシロ<br>セリ(東北)<br>エゾノサヤヌカグサ(北海道)<br>シズイ(東北)<br>コウキヤガラ(九州)<br>アオミドロ・藻類による<br>表層はく離<br>(東北、近畿・中国・四国、九州) | 移植後3日～<br>ノビエ2葉期<br>但し、<br>移植後30日まで | 砂壤土～<br>埴土 | 小包装<br>(パック)<br>10個<br>(500g) | 本剤のみ 1回<br>カフェンストール<br>1回<br>ベンゾピシクロン<br>2回以内<br>ピラゾキシフェン<br>2回以内<br>ダイムロン<br>3回以内<br>(育苗箱散布: 1回以内)<br>本 田: 2回以内 | 水田に小包装<br>(パック)のま<br>ま投げ入れる | 全域(近畿・中国・四国、<br>九州を除く)の普通期<br>及び早期栽培地帯 |
|          | 近畿・中国・四国、九州<br>の普通期及び<br>早期栽培地帯   |                                     |            |                               |  |                             |  |

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

## ⚠ 効果・薬害等の注意

### 1. 耕起、代かきはしていけない。

整地や代かきをしていけないに行い、水田面が均平になるようにしてください。(特に未成熟有機物を施用した場合)

### 2. 植付けの悪いところでは使用しない。

砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)、軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植の水田、浮き苗の多い水田、植穴の戻りが悪い水田では使用しないでください。

### 3. 湛水を十分に確保。

薬剤の拡散性を一層高めるため、処理時は水の出入りを止めて、十分な湛水状態(水深5～6cm程度)で散布してください。  
アオミドロ・藻類などが多発している場合は拡散性が劣りますので使用を避けてください。

### 4. 散布後の水管理が重要。

散布後3～4日間は湛水状態(3～5cm)を保ち、浅水になったり田面が露出しないよう留意してください。また、散布後少なくとも7日間は落水やかけ流しはしないでください。梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので、使用をさけてください。

**湛水深を保つ!**

### 5. 散布適期を守ってください。

- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布してください。各雑草の散布適期は以下のとおり。  
ウリカワ……2葉期まで(東北、北陸、関東・東山・東海は発生始期まで) ヒルムシロ……発生期まで  
ミズガヤツリ…2葉期まで(東北、北陸は発生始期まで) セリ………再生前から再生始期まで  
ホタルイ、エゾノサヤヌカグサ………2葉期まで アオミドロ・藻類による表層はく離…発生前まで  
ヘラオモダカ、コウキヤガラ………発生始期まで
- シズイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまで十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。

### 6. 散布後の田面水の処理

本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本印刷物は、平成24年10月時点での知見に基づいて作成しています。